## Google Speech API について

2017/2/13

「自然会話ロボットを作ろう」のご購入していただいて、ありがとうございました。 Google Speech API について、次のように追加説明させていただきます。

## 「Google Speech API」と「Google Could Speech API」

Google 社が「Google Speech API」と「Google Could Speech API」の2つの音声認識 API を提供しています。2つ API の機能はほぼ同じですが、使い方は違います。

- 「Google Speech API」は基本的に個人勉強用、商業利用できないが、「Google Could Speech API」は商業利用可能である。
- 「Google Could Speech API」のキーは、「Google Speech API」に使えない。

<u>本書のサンプルでは「Google Speech API」を利用するので、かならず「Google Speech</u> API」キーを取得してください。

## 「"No JSON object could be decoded"」

不正の Google API キーで Google Speech API を実行する場合、Error 403 (Forbidden) が発生して、"No JSON object could be decoded"エラーメッセージが表示されます。

前述した「Google Could Speech API」のキーで Google Speech API を実行する場合、このような"No JSON object could be decoded"エラーが発生します。

## 音声を正しく認識しない

本書発売後の 2017 年 2 月ごろから、Google Speech API が音声が正しく認識されなかったことが報告されました。たとえば、本書サンプル「test-recognize.py」を実行して、「hello.flac」の「こんにち」音声を認識する場合、「"anitube"」のような誤った認識結果がなりました。Google Speech API のバグだと思います。具体の原因がわかりませんが、低いサンプルレート(11025Hz)音声の場合のみ、発生することがわかりました。

そこで、高いサンプルレート(17000Hz)での修正ファイルを提供することにします。 秀和システム社の本書サポートページから、「ai-samples.zip」をダウンロードすれば、修 正した本書のサンプルファイルを入手できます。今回の修正は次の 5 つのファイルに影響 します。

- ai-dialog.py
- ai-robot.py
- hello.flac
- test-listen.py
- test-recognize.py